

助成事業を募集中

「北海道自転車産業協会まちづくり基金」

市民のみなさんの寄付でまちづくり活動を応援する「さぽーとほっと基金（札幌市市民まちづくり活動促進基金）」に、「財団法人北海道自転車産業協会 様」からのご寄附をもとに、冠基金「北海道自転車産業協会まちづくり基金」を設置しました。

この基金は、【自転車を活用したまちづくり活動】をテーマに助成します。
みなさまの工夫を凝らした素晴らしい事業の応募をお待ちしております。

※なお、この基金は、「さぽーとほっと基金」の助成メニューのひとつです。申請にあたってはあらかじめ同基金へ団体登録することが必要となります。

募集要項

1 募集事業（テーマ）

自転車を活用したまちづくり活動

<参考例>

サイクリングツアー、自転車スタンプラリー、自転車が故障した場合の修理方法を学ぶ教室の開催、安心安全で楽しい自転車生活を過ごすための講習会など

- ・助成対象経費の2分の1までを助成します。
- ・1事業につき、10万円から50万円の間で助成します。
- ・募集総額を100万円とし、これを上限に予算の範囲内で助成します。
- ・平成26年5月1日（木）から平成27年3月末までに終了する事業が対象です。
- ・「分野・テーマ」において、3年度連続して助成を受けた場合、4年度目は助成を受けられませんので、ご注意ください。

※なお、当該助成金の総額については、平成26年度予算成立後の実際の予算に応じて、助成することといたします。

2 助成対象事業

助成対象となる事業は以下の条件をすべて満たすものになります。

- ・営利を目的としない公益的な事業
- ・地域社会の発展に資すると認められるもの
- ・札幌市民を対象とした事業
- ・親睦やレクリエーションを主な目的とした事業でないこと
- ・当該事業が当該年度内において、札幌市の他の助成等を受けている、もしくは、受けることが決定している事業でないこと
- ・既に終了した事業でないこと

3 提出期限

平成26年3月5日（水）必着

※ご持参される場合には、事前にご連絡をお願いいたします。

4 スケジュール

- ・ 3月5日(水)まで 事業の募集
- ・ 3月中旬～下旬 書類審査
- ・ 4月上旬～中旬 公開プレゼンテーション
- ・ 4月中旬 助成決定

5 助成対象事業費

項目	経費の内容
① 報償費	講師・指導者、ボランティアへの謝礼等
② 役務費	通信費(切手代等)、運搬費、広告料、手数料、保険料等
③ 使用料・賃借料	会場使用料(付帯設備使用料を含む)会場設営費、車両等の賃借料等
④ 備品費・消耗品費	材料費、印刷費(チラシ・ポスター等の印刷費)等
⑤ 設備工事費	設備工事に関わる経費等
⑥ 旅費	交通費(航空運賃、鉄道運賃等)、宿泊費等
⑦ その他	その他事業に伴い必要な経費

なお、次のような団体の維持運営に伴う経常経費等は助成対象とはなりません。

- ・ 事務所や活動拠点の家賃、光熱水費、スタッフへの給与等、団体の経常的な運営に係る経費
- ・ 飲食費
- ・ 建設費
- ・ 日常的な事務作業のため使用する文房具類の購入費
- ・ 団体内部の会議などで使用する図書や各種用品の購入費
- ・ その他、市長が適当でないと認める経費

6 提出書類

次の書類を郵送か持参で市民活動促進担当まで提出してください。

- ① 市民まちづくり活動促進助成金交付申請書(助成金交付様式1)
- ② 事業計画書(助成金交付様式2)
- ③ 収支計画書(助成金交付様式3)
- ④ その他(事業資料や、5万円以上の備品購入等の場合にはその見積書)

・ 様式については札幌市の市民活動のホームページ(URLは下記参照)からダウンロードできます。また、本パンフレット添付の様式もお使いいただけます。

・ 申請書は別添の記載例を参考に具体的にていねいにお書きください。

事業実施後、事業報告書及び収支決算書等の書類を提出していただきます。この際、助成対象事業費については、領収書や支払いを証明できる書類を添付してください(写しで可)。

また、事業報告書については、事業終了後1か月以内にご提出ください。(事業終了が3月の場合には3月31日(月)までにご提出ください。)

7 助成決定

市民まちづくり活動促進テーブルの書類審査の上、助成決定します。

提出先・申請事業に関する問い合わせ先

札幌市 市民まちづくり局 市民自治推進室 市民活動促進担当

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 市役所 13階

TEL 011-211-2964 FAX 011-218-5156

E-mail shimin-support@city.sapporo.jp HP <http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/>

平成 年 月 日

(あて先) 札幌市長

郵便番号

住 所

団 体 名

代 表 者 職名

氏名

印

(担当者名

TEL

)

札幌市市民まちづくり活動促進助成金交付申請書

平成26年度札幌市市民まちづくり活動促進助成金の交付を受けたいので、「札幌市市民まちづくり活動促進助成金交付要綱」の規定に基づき、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1 助成の種類

~~(1) 団体指定助成~~

~~(2) 分野指定助成~~ 活動分野：〔

(3) テーマ指定助成 活動テーマ：自転車を活用したまちづくり活動

(北海道自転車産業協会まちづくり基金)

2 助成事業名

3 助成金申請額

4 関係書類

(1) 事業計画書 (助成金交付様式 2)

(2) 収支計画書 (助成金交付様式 3)

(3) その他

26年度

事業名		
目的		
事業期間	平成 年 月 ～ 平成 年 月	
具体的な事業内容		
活動場所		
期待される効果		
さぽーと ほっと基 金による 過去の助 成実績	事業名	
	助成金	助成時期
	事業の成果	
	今回レベルアップした点など（今回の事業が過去の助成事業と同内容の場合）	

助成金交付様式3

収 支 計 画 書 (平成 年 月 ~ 平成 年 月)

項 目		金 額(円)	内 訳
収 入	自己資金		会費
			事業収益
			その他
	さぽーとほっと基金助成金		当該事業に対する助成希望額
	その他の補助金・助成金		
	寄附金・協賛金		
	その他		
計			
支 出	助成対象経費	報償費	
		役務費	
		使用料・賃借料	
		備品費・消耗品費	
		旅費	
		その他	
		小計	
	助成対象外経費		
		小計	
	計		

記入例

平成〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 札幌市長

郵便番号 060-8611

住 所 札幌市中央区北1条西2丁目 □□様方

団体名：省略しないこと。(特定非営利活動法人の場合は、NPO法人と略さないこと。)

職名：代表者の職名を記入すること。

印：団体の印ではなく、代表者の印もしくは代表者の私印で押印すること。

団 体 名 特定非営利活動法人

札幌市市民まちづくり活動促進協議会

代 表 者 職名 代表理事 氏名 札幌 太郎 印

(担当者名 札幌 次郎 Tel 011-000-0000)

札幌市市民まちづくり活動促進助成金交付申請書

平成26年度札幌市市民まちづくり活動促進助成金の交付を受けたいので、「札幌市市民まちづくり活動促進助成金交付要綱」の規定に基づき、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1 助成の種類

~~(1) 団体指定助成~~

~~(2) 分野指定助成 活動分野：~~ {

(3) テーマ指定助成 活動テーマ：自転車を活用したまちづくり活動

(北海道自転車産業協会まちづくり基金)

2 助成事業名

サイクリング林間学校

3 助成金申請額

¥225,000円

4 関係書類

(1) 事業計画書 (助成金交付様式2)

(2) 収支計画書 (助成金交付様式3)

(3) その他 見積書、講師の経歴書別添

記入例

事業計画書

具体的に書いてください。内容については「5W1H」を意識して記載してください。
 「who：誰が」「what：何を」「when：いつ」「where：どこで」「why：なぜ」「how：どうやって」

事業名	サイクリング林間学校	
目的	林間学校により、子どもたちの総合学習の場を提供するとともに、親元から離れて過ごすことで、子どもたちの自立心を育む。 また、遠方へのサイクリングにより、子どもたちの体力増進、最後まで物事をやり遂げる気持ちを養う。	
事業期間	平成〇〇年 9月 ～ 平成〇〇年 12月	
具体的な事業	子育て支援団体等のネットワークを通じて、参加児童を募る。 札幌市役所前に集合し、車通りの多い、街中を自転車マナーの指導を行いながら、また給水などの休憩を取りながら、目的地（月形町皆楽公園）を目指す。 目的地では、火起こし、飯ごうを使用しての炊飯等の調理勉強。 また、自転車の整備方法、修理方法などの講習を行うとともに、小学生同志の絆を深めるためのレクリエーションを行う。 参加児童が多くなることが想定されるため、2回に分けて実施する。 <実施日> ① 平成 25 年 9 月 14 日（土）～平成 25 年 9 月 15 日（日） ② 平成 25 年 9 月 21 日（土）～平成 25 年 9 月 22 日（日）	
	月形町皆楽公園	
	札幌市の将来を担う市内の小学生に総合学習の機会を提供するとともに、遠方へのサイクリングを行うことで体力増進、最後までやり遂げる心を養う。 また、親元から離れ一日過ごすことで、自立心を育み、子どもたち同士の絆づくりにつなげることができる。	
さぼーとほつと基金による過去の助成実績	事業名	
	助成金額	円 助成時期： 年 月
	事業の成果	
	今回レベルアップした点など（今回の事業が過去の助成事業と同内容の場合） 実施なし	

この事業内容を記入する欄には、事業の内容、手法、参加する方の人数、募集方法、事業の周知方法、事業に協力してくれる方など事業に関することについて、申請時点でわかっていることをできる限り詳しくご記入ください。記入スペースが足りない場合は、別紙を添付してください。（様式は問いません。）

記入例

事業収益の欄には、当該申請事業を実施することで見込まれる収入を記入してください。

収 支 計 画 書 (平成〇〇年 9月 ~ 平成〇〇年 12月)

項 目		金 額(円)	内	訳	
収	自己資金	264,150	会費 (@1,500円 × 45人 × 2回) 事業収益 その他 団体負担金 (129,150円)		
	札幌市市民まちづくり活動促進助成金	225,000	〈A〉当該事業に対する助成希望額		
	その他の補助金・助成金				
	寄附金・協賛金	100,000	企業からの協賛金		
	その他				
	計	589,150	〈B〉		
支 出	助成対象経費	報償費	75,000	@5,000円 × 15人	
		役務費	71,400	案内送付 (@350円 × 204校)	
			54,000	イベント保険 (@300円 × 45人 × 2日 × 2回)	
			93,000	キャンプ道具運搬費 (3,000円) テントレンタル (@30,000円 × 3)	
		使用料・賃借料	9,000	キャンプ場使用料 (@200円 × 45人)	
			19,500	バンガロー (@4,000円 × 3棟) バンガロー (@2,500円 × 3棟)	
		備品費・消耗品費	10,000	リーフレット作成費 (@10円 × 1,000部)	
			2,250	当日配布資料 (@50円 × 45部)	
			120,000	自転車整備・修理用教材等 (@2,000円 × 30人 × 2回)	
		旅費			
		その他			
		小計	454,150	〈C〉	
		助成対象外経費	飲食費	72,000	食材費 (@800円 × 45人 × 2回)
飲食費	45,000		昼食費 (@500円 × 45人 × 2回)		
飲食費	18,000		給水用ドリンク (@200円 × 45人 × 2回)		
小計	135,000		〈D〉		
	計	589,150	〈C〉+〈D〉=〈B〉		

助成対象経費には、助成対象となる経費のすべてを記入してください。(申請助成金額と同額にしなければならないということではありません。)

※ 分野指定助成及びテーマ指定助成の場合、助成対象経費に対する助成率が 50%以下でなければなりません。〈助成率 (%) = A ÷ C × 100〉